

科目名	ジェンダー論				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照		
開講期	秋学期	開講学部等	現代社会学部	配当年次	2 年次
教員名	東 園子			単位数	2 単位

授業概要／Course outline

本授業は、社会の中で個人の地位やライフコース等を規定し、社会のあり方に関わる大きな属性の一つであるジェンダー（社会の中での性別のあり方）が個人や社会にもたらす影響について論じることを目的とする。家族・労働・セクシュアリティ（性）・暴力等に関する現代的な社会問題について、ジェンダーの視点から分析を行う。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
- moodleにリンクした授業用動画を視聴し、課題に回答する回がある。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 テーマ：ガイダンス

この授業の狙い、履修上の注意、評価方法、ジェンダー概念、ジェンダー論の成り立ち等について説明する。（オンデマンド授業）

第2回 テーマ：身体

人間の身体の多様性とそれに対する社会の中での性別に関する枠組みの差異や、性別観が身体の捉え方に及ぼす影響などを紹介し、男女に二分された現代の性別観は決して自然で自明なものではないことを示す。

第3回 テーマ：性の多様性

LGBTQなど、多様な性のあり方について説明する。

第4回 テーマ：日本の家族の歴史

第4回から数回かけて、社会の中での性別役割等を大きく規定する家族について、日本での歴史的変化を追い、家族のあり方は普遍的なものではなく、その時々社会状況によって変わるものであることを示す。この回は第二次世界大戦以前の家族を扱う。（オンデマンド授業）

第5回 テーマ：戦後の家族モデル

戦後成立した家族モデルはどのようなものかについて説明する。（オンデマンド授業）

第6回 テーマ：男性稼ぎ主モデルと雇用

戦後成立した家族モデルと雇用の関係について説明する。

★オンデマンド テーマ：戦後家族モデルの変化

戦後成立した家族モデルの変化について説明する。動画（授業90分相当）は11/13に配信予定である。

第7回 テーマ：共働き時代の再生産労働

共働き時代の家族のあり方について説明する。

第8回 テーマ：少子化と家族形成

少子化の背景について考察する。

第9回 テーマ：これからの家族の課題

これからの家族に関する課題について説明する。

第10回 テーマ：労働

職務がジェンダーによって分割される傾向や、企業等の要職の多くが男性で占められている現状とその背景などについて説明する。

第11回 テーマ：DV

第11回から第12回は暴力の問題を取り上げる。この回は、夫婦・恋人間の暴力であるDVについて説明する。
(オンデマンド授業)

第12回 テーマ：性暴力

相手が望んでいない性的な行為を行う性暴力について説明する。(オンデマンド授業)

第13回 テーマ：漫画

ジェンダーが文化に与える影響について、漫画を題材に分析する。漫画の内容や表現方法、漫画の読まれ方などについて少女漫画と少年漫画を比較する。

第14回 テーマ：全体のまとめ

授業全体を振り返り、授業内容の習得度合いについて確認する。(オンデマンド授業)

※授業の内容・順序等は諸事情により変更する可能性がある。

事前・事後学修／Preparation and assignments

事前学修：前回の授業内容を振り返り、また今回のテーマに関して性別に関わる問題としてどのようなものがあるか、自分なりに考える。

事後学習：ノート等を参照しながら授業内容を復習し、課題に取り組む。興味を持った参考文献を読む。

※各授業に対する事前・事後学修は約180分を目安とし、合計で2700分程度とする。

授業の到達目標／Expected outcome

現代社会におけるジェンダーに関する諸問題を理解し、日常生活に社会的な視線を向け、その中からジェンダーの問題を見出すことができるようになること。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- | | |
|--------|-----------------|
| ・思考力 | 専門知識・専門技能 |
| ・幅広い教養 | 【現代社会学部 現代社会学科】 |
| ・倫理性 | ・社会学における基礎知識 |

履修上の注意／Special notes, cautions

・この授業は対面授業の回とオンデマンド授業の回がある。moodleにアクセスし、日程や受講の仕方等を確認すること。

・授業の内容・順序等は諸事情により変更する可能性がある。授業内・moodleでの連絡に注意すること。

・私語等、受講態度が目にと余ると教員が判断した場合は、減点の対象とする。

評価方法／Evaluation

- ・各回の課題（100%）

教材／Text and materials

- ・教科書：特になし
- ・参考図書：毎回、授業中に紹介する。

質問や相談の方法／Instructor contact

授業に関する質問や相談などがある場合は、授業の前後の時間を利用するか、担当教員にメールを送ること。連絡先等の詳細はmoodleに記載する。